

会派 行政視察報告書 2023. 7. 18~20

2023年7月18日(火)~7月20日(木)

1日目

(1) 日時 2023年7月18日(火)13:30~

(2) 視察先

大分県宇佐市

(3) 視察項目

子育て支援策について

(4) 所感

13時20分から宇佐市役所4階「議会・委員会室」で研修・意見交換を行なった。議会事務局の進行ではじまり、議長不在のため緒方議会事務局長から歓迎の挨拶があり、浦田議員から唐津市議会「日本共産党唐津市議団、市民リベラル」を代表して挨拶をした。

まず、子育て支援課の西田課長から、宇佐市の子育て支援策の「概要」が大まかに説明をされた。特徴として経済的な支援策が多いのが宇佐市の他の自治体との違いではないかと言われていた。子育て支援策の「一覧表」もいただいたが、その中でも経済的支援策が多いのは見てとられた。この一覧表は唐津市でも採用すべきだ考える。市民に「どんな支援策があるのか」知ってもらい利用する事で、子育ての負担感をより一層軽減できると思う。

次に子育て支援課の堀・総括、永岡・総括から宇佐市の「子育て支援の体制」「現状」「経過」「課題」「特徴」などについて説明がされた。合計出生率が県でもトップクラス、全国平均も大きく上回るとのことで、説明に聞き入った。後で見学もさせていただいたが、福祉関係がワンフロアに全てあり、市民への相談、申請等もスムーズに行えるようになっており、唐津市にも事情はあるが、見習うべきかな?と思う。また、「こども医療費助成の拡大!」という事で、18歳(高校生年齢相当)まで助成を拡大している事には注目した。高校生は月4回という縛りはあるが、ここも唐津市として見習う課題であると考ええる。開業している助産師の手も借りて、相談体制を構築しているというところにも注目をした。課題として4点挙げていた。唐津市でも言える事だと思う。そうした課題を克服するために、「アンケートの活用」というのがあった。ここも唐津での課題と考える。地域拠点事業(中学校校区ごと)が7ヶ所、NPO法人や社会福祉法人に委託しているという事であった。きめ細かな支援ができると考える。唐津での事業体制の参考になると考え、質問の中で取り上げた。

宇佐市での子育て支援事業の特徴的なものについて何点か意見交換をした。病児・病後児保育事業は、小児科内に設けて、唐津市では病後児だけだが、宇佐市では病児まで保育できるというのが画期的であった。小児科医の協力は大きいものがあると考え。他・自治体に先駆けて取り組む「子育て支援策」も多くあり、魅力ある子育て支援策に収穫ある研修であった。

2日目

(1) 日時 2023年7月19日(水)14:00~

た。続いて浦田議員から唐津市議会「日本共産党唐津市議団、市民リベラル」を代表して挨拶をしてもらった。

健康福祉部健康長寿課より、「健康長寿のまちづくり市民運動について」と題して説明を受けた。「健康長寿のまちづくり市民運動」の発端は、2008年から2009年にかけて延岡県立病院の医師が同時に大量に退職したことから地域医療の危機と立ち上がったと説明があった。夜間診療などの緊急医療に対する不満であったそうだが、そうしたことを少しでも解消し、医師の確保、地域医療の健全化を目指したと説明がされた。

意見交換では唐津市の医療体制などの課題も質問され有意義な時間であった。